

阿賀野川(阿賀川)水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和6年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 田んぼダムモデルほ場の設置及び現地研修会の開催(福島県)
- 阿賀川管内の各河川管理施設の機能把握するため、河川管理者と合同勉強会の実施
- 出水期前に河川管理者等と合同で水防資機材の確認(福島県、会津若松市、会津美里町等)
- 出水期前に河川管理者等と重要水防箇所等の合同点検巡視の実施(福島県・会津若松市・会津美里町・昭和村等)
- 洪水時の公衆災害防止を目的として、出水時の通知、通報の方法・連絡体制などの確認と意見交換を実施(東北電力：国、市町村、警察、消防、1回)(電源開発：町、警察、消防)
- 操作規程で定められた通知内容以外についても、県・市町村・警察と協議を行い、運用による通知を実施(東北電力：県・市町村・警察、常時)(電源開発：県・町・警察、消防)

水災害、流域治水の広報

- 防災意識の向上とマイ避難の普及を目的とした総合防災イベントの開催
- 出水期等に合わせ災害時の備えや避難の重要性に関してラジオ・新聞・広報紙・ポスター等で呼びかける
- 道の駅などの広報施設に流域治水にまつわるポスターを掲示
- 線状降水帯に関する注意喚起等について、30秒スポットCMや新聞にて周知広報を実施(福島県)
- 出前講座、防災イベント、マイ避難講習会等のイベントや包括連携を結んでいる店舗で「ふくしまマイ避難ノート」等を配布(福島県)
- 防災意識の向上とマイ避難の普及を目的とした総合防災イベント「そなえる・ふくしま2024」を実施予定。(福島県)
- 気象台と連携し県内市町村職員を対象とした気象防災ワークショップを各地方振興局にて実施。(福島県)
- 県内の流域治水に係る取組について、各種イベントや防災出前講座などの様々な機会を捉え、効果的な情報発信を行う。(福島県)
- 広報誌でダム放流に関する啓発活動を実施(東北電力：市町村、1回)(電源開発：町(只見町での全戸配布))
- ダム放流に関するポスター配布により啓発活動を実施(東北電力)(近隣小学校、1回)

教育活動・出前講座

- 災害リスクエリアの住民等を対象にマイ避難推進講習会を開催(福島県)
- 小中学校等を対象に「そなえるふくしまノート」等を活用した防災出前講座を実施予定(福島県)
- 小中学校等に水災害及び土砂災害などに関する出前講座の実施(福島県、会津若松市等)
- 防災教育を実施し防災意識の向上を図るための市民向け出前講座・防災セミナーの実施(会津若松市等)

リスク情報等の提供

- 洪水浸水想定区域、土砂災害計画区域等の検討・公表
- 避難場所や経路等に関する情報の周知(出前講座等)
- 危機管理型水位計・簡易型河川管理カメラの設置、増設
- リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信(緊急速報メール・市民向け防災情報メール、防災アプリ等)など防災情報(気象情報や避難情報等)の充実・普及促進
- ホームページ等による河川の水位情報や河川監視カメラ等の情報提供
- 洪水ハザードマップの更新
- 新たな防災ポータルによる情報発信(福島県)
- 引き続き、阿賀川流域における要指定箇所の指定を進めるとともに、早期避難を促すため、現地標識の設置や土砂アラートの周知拡大などを推進する。(福島県)
- 会社ホームページにダム毎正時情報等の掲載による情報提供(東北電力)
- ダム毎正時情報等を国土交通省へ伝送し、「川の防災情報」への掲載による情報提供(東北電力・電源開発)

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練・水防訓練の実施及び促進(会津若松市、会津美里町等)
- 河川管理者と合同防災訓練・水防演習の実施
- 自主防災組織による避難訓練を実施
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組

水防活動の支援

- 災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化
- FMラジオ等における、水防団員の募集・広報の実施

水災害対策の支援

- 出水期に備えた土のう作成及び配備(会津若松市等)
- 水防資機材の種類や必要数量の確認(会津若松市等)
- 自主防災組織新規設立を促すための出前講座・説明会の開催
- 土壌ステーションの保管量、管理方法、速やかな配布方法等の検討(喜多方市)

計画策定

- 防災指針(立地適正化計画)の作成・公表(喜多方市等)
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- 水害対応タイムライン・流域タイムラインの作成・支援
- 大川ダム緊急放流時のホットラインの確認
- 地区防災計画策定に向けたワークショップ等の開催
- マイタイムラインの普及促進のための出前講座の実施(会津若松市等)
- 地区防災計画策定支援事業(県内全域対象)により市町村をとおして対象地区を選定、支援を実施する。30市町村30地区でのモデル創出を目指す。(福島県)
- 水害タイムラインの策定主体となる市町村と連携しながら各種技術的支援を実施(福島県)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	出水期前			
		防災意識の向上とマイ避難の普及を目的とした総合防災イベントの開催 防災意識の向上とマイ避難の普及を目的とした総合防災イベント「そなえる・ふくしま2024」を実施予定。（福島県） 出水期等に合わせ災害時の備えや避難の重要性に関してラジオ・新聞・広報誌・ポスター等で呼びかける 道の駅などの広報施設に流域治水にまつわるポスターを掲示 線状降水帯に関する注意喚起等について、30秒スポットCMや新聞にて周知広報を実施（福島県） 出前講座、防災イベント、マイ避難講習会等のイベントや包括連携を結んでいる店舗で「ふくしまマイ避難ノート」等を配布（福島県） 気象台と連携し県内市町村職員を対象とした気象防災ワークショップを各地方振興局にて実施。（福島県） 県内の流域治水に係る取組について、各種イベントや防災出前講座などの様々な機会を捉え、効果的な情報発信を行う。（福島県） 広報誌でダム放流に関する啓発活動を実施（東北電力：市町村、1回）（電源開発：町（只見町での全戸配布）） ダム放流に関するポスター配布により啓発活動を実施（東北電力）（近隣小学校、1回）			
	◎連携活動 地域 個人	出水期前に河川管理者等と合同で水防資機材の確認（福島県、会津若松市、会津美里町等） 出水期前に河川管理者等と重要水防箇所等の合同点検巡視の実施（福島県・会津若松市・会津美里町・昭和村等） 阿賀川管内の各河川管理施設の機能を把握するため、河川管理者と合同勉強会の実施 田んぼダムモデルほ場の設置及び現地研修会の開催（福島県） 洪水時の公衆災害防止を目的として、出水時の通知、通報の方法・連絡体制などの確認と意見交換を実施（東北電力：国、市町村、警察、消防、1回）（電源開発：町、警察、消防） 操作規程で定められた通知内容以外についても、県・市町村・警察と協議を行い、運用による通知を実施（東北電力：県・市町村・警察、常時）（電源開発：県・町・警察・消防）			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	洪水浸水想定区域、土砂災害計画区域等の検討・公表 避難場所や経路等に関する情報の周知（出前講座等） 危機管理型水位計・簡易型河川管理カメラの設置、増設 リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信（緊急速報メール・市民向け防災情報メール、防災アプリ等）など防災情報（気象情報や避難情報等）の充実・普及促進 ホームページ等による河川の水位情報や河川監視カメラ等の情報提供 洪水ハザードマップの更新 新たな防災ポータルによる情報発信（福島県） 引き続き、阿賀川流域における要指定箇所の指定を進めるとともに、早期避難を促すため、現地標識の設置や土砂アラートの周知拡大などを推進する。（福島県） 会社ホームページにダム毎正時情報等の掲載による情報提供（東北電力） ダム毎正時情報等を国土交通省へ伝送し、「川の防災情報」への掲載による情報提供（東北電力・電源開発）			
	◎教育活動・出前講座 地域 個人	災害リスクエリアの住民等を対象にマイ避難推進講習会を開催（福島県） 小中学校等を対象に「そなえるふくしまノート」等を活用した防災出前講座を実施予定（福島県） 小中学校等に水災害及び土砂災害などに関する出前講座の実施（福島県、会津若松市等） 防災教育を実施し防災意識の向上を図るための市民向け出前講座・防災セミナーの実施（会津若松市等）			
	◎訓練活動 地域 個人	住民参加型の避難訓練・水防訓練の実施及び促進（会津若松市、会津美里町等） 河川管理者と合同防災訓練・水防演習の実施 自主防災組織による避難訓練を実施 ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組			
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	防災指針（立地適正化計画）の作成・公表（喜多方市等） 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 水害対応タイムライン・流域タイムラインの作成・支援 大川ダム緊急放流時のホットラインの確認 地区防災計画策定に向けたワークショップ等の開催 マイタイムラインの普及促進のための出前講座の実施（会津若松市等） 地区防災計画策定支援事業（県内全域対象）により市町村をとおして対象地区を選定、支援を実施する。30市町村30地区でのモデル創出を目指す。（福島県） 水害タイムラインの策定主体となる市町村と連携しながら各種技術的支援を実施（福島県）			
	◎水災害対策の支援 個人	出水期に備えた土のう作成及び配備（会津若松市等） 水防資機材の種類や必要数量の確認（会津若松市等） 自主防災組織新規設立を促すための出前講座・説明会の開催 土嚢ステーションの保管量、管理方法、速やかな配布方法等の検討（喜多方市）			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化 FMラジオ等における、水防団員の募集・広報の実施			